

開催趣旨

2022年に始まったロシアによるウクライナ侵攻の戦争事態は、人命を始め社会、経済、環境などに深刻な影響を世界に及ぼしています。戦争による直接的な被害は、生命健康のみならず、食料や農業問題、資源エネルギー問題を招き、社会や経済、その歴史や文化にも及び、環境においても深刻です。

また、日本でも物価高騰などに見られるように、その間接的な影響は大きくなっています。その一方では、この戦争を通じてICTの存在とその重要性が改めて認識されてきています。戦争それ自体がICTを基盤とする情報（処理）戦争の様相を呈していること、そして様々なネットワークを通じて、事態の深刻さや問題が即時に共有されること、そこにはフェイクなど情報の誘導や誤作動も指摘されるところです。こうした状況からは、戦争に直接関係しないところでもICTが否応なく私たちの日常に広がっていることがわかります。

今、私たちは戦争の影響だけではなく、感染症と共に暮らすことや気候危機への対処を、日々の生活の場から求めなければなりません。そのための糸口はICTにあります。それを本当に私たち自身のために、すべての人々のために活用することができているのでしょうか。これら危機事態によって私たちは、ICTが社会の維持に大きな役割を果たしていること、未だその機能を十分に活用できていないことを認識し始めています。インフラをはじめとする公共施設の維持管理、様々な公的サービスの提供、暮らしに必要な資源やエネルギーの管理など、私たちの社会の維持のためには、ICTをさらに進化させ機能させることが求められています。

第24回京都研究会は「変化する政界情勢とICT、これからの持続可能な地域社会」と題して、1月20日（金）にオンライン（zoom）で実施することになりました。私たちが目指す持続可能な地域づくりに向けて、大きく変化する世界と日本の情勢の中で、ICTをさらに活用していくことを皆様とご一緒に考えたいと思います。多くの皆様のご参加を得て、京都研究会を盛り上げることができればと思っています。

特定非営利活動法人
日本サステナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新川 達郎

●お申し込み: 下記アドレスにメールをお送りください。
担当: 小川 info@dokokaru.net

●参加費: 無料

プラン	対 象	一般	SCCJ会員 (企業・団体/個人)・学生 および地方公共団体職員の方
	研究会 (13:00～)	無料	無料

変化する世界情勢とICT、
これからの持続可能な地域社会

第24回京都研究会

http://www.sccj.com/kk/2022-2023

SCCJ

Sustainable Community Center Japan

2023年1月20日 (金)
13時ログイン開始~17時

Zoom 開催

※事前申込先着順



研究会

13:00~17:00

● EUの安全保障〜ウクライナ戦争事態に対応して

- 演者: 新川 達郎 (同志社大学名誉教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事)
- 演者: 原田 徹 先生 (仏教大学社会学部公共政策学科講師)

● 未定

- 演者: 隅岡 敦史
(NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター理事)

● 持続可能な地域を支援するSNSプラットフォーム
「xLife」のご紹介

- 演者: 竹原 司 (インフォグリーン株式会社代表取締役社長/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

● 「いよいよ始まる「医師の働き方改革」:DX活用の処方箋

- 演者: 北岡 有喜 (社会医療法人岡本病院 (財団) 理事/京都岡本記念病院
副院長/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問)

● 【会場参加者・演者を交えた総合討論会】
『変化する世界情勢とICT、これからの持続可能な地域社会』

- コーディネータ: 新川 達郎 (同志社大学名誉教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事)
- 登壇者によるパネルディスカッション

※ 演題名は変更の可能性があります。

主催: 特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター (SCCJ)

お問い合わせ: SCCJ E-mail: info@dokokaru.net